

## 1 概要

### (1) 発見状況について

- ア 発見日 平成31年1月13日(日) 午後
- イ 場所 琴浦町別所 赤碕新港(株)鳥取林養魚場周辺の臨港道路側溝
- ウ 状況

(ア) 鳥取林養魚場では、1月10日(木)にサイズ選別のため成長してきたギンザケ幼魚をフィッシュポンプにより別水槽に分けて収容する作業を実施したが、その際に誤ってギンザケが側溝に流出してしまった。

(イ) 当時、鳥取林養魚場は流出したことに気付いておらず、赤碕新港に訪れていた釣り人が発見し、ツイッターに投稿した。

### (2) 流出したギンザケ<sup>へいしぎよ</sup>斃死魚について

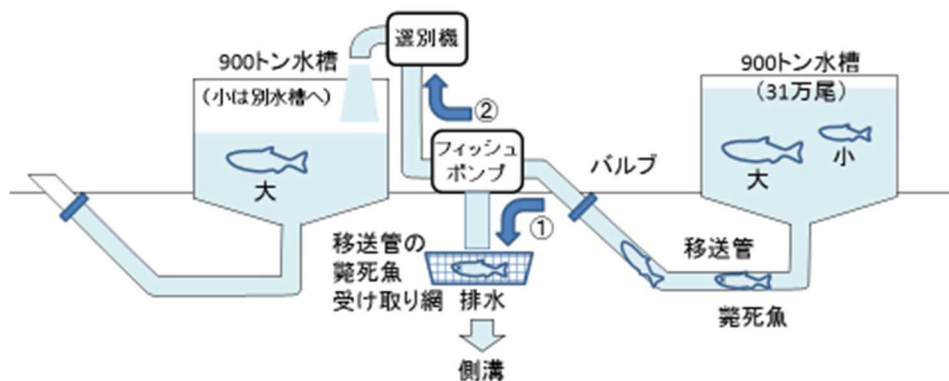
- ア 流出量 約500尾(約40kg)
- イ サイズ 全長15~20cm、体重50~100g
- ウ 流出箇所 養魚場周辺の側溝
- エ 回収作業 1月14日(月)午前中に終了

## 2 斃死魚の流出原因について

移槽作業時に行う水槽底の移送管内の斃死魚を取り除く作業において、今回大型のフィッシュポンプに変更(150mm→200mm)したことで、予想以上の水量により、社員が斃死魚を受ける網を支えきれず網がずれ、斃死魚が側溝内に流出した。また、水量が多いため、魚が流出したことに気付くことができず、作業終了後も周辺の側溝を確認していなかった。

### 【作業手順】

- ①水槽底の水及び斃死魚を排出
- ②選別に2つの水槽へ移槽



## 3 町及び県の対応

### (1) 町の対応

- ア 赤碕町漁業協同組合及び地元区長へ状況説明を行うよう指示(1月15日)
- イ 顛末書の提出を依頼(1月15日)
- ウ 県が実施した現地調査に同行(1月15日調査)

### (2) 県の対応

再発防止のため、次の4点について改善を指導し、改善方針について報告をするよう求めた。

- ア 魚を受ける網は水量に耐えることができ、ずれることがない網を導入する事
- イ フィッシュポンプへ送水する移送管バルブを調整して水量を抑える事
- ウ 作業中は魚の流出がないか周辺の側溝を確認する事
- エ 全社員への研修を実施する事

# 農業研修生の採用について

農林水産課

## 1 概要

琴浦町農業研修制度の研修希望者を、平成31年1月8日に関係機関で面接選考し、次の者を採用することに決定しました。

- (1) 氏名 宮本 大輔(みやもと だいすけ)
- (2) 年齢 37歳
- (3) 出身地 奈良県香芝市
- (4) 研修品目 ミニトマト
- (5) 任命年月日 平成31年2月1日
- (6) 経緯

祖父の実家がある琴浦町に縁を感じ、平成30年9月に実施した琴浦町農業体験ツアーに参加。その後、10月に本町での就農相談、12月に大阪で開催された新・農業人フェアでの就農相談等を経て、本町での農業研修受講を決意された。

## 2 研修内容

町内でミニトマトを生産する篤農家を師匠として、2年間の実践研修を実施。また、実践研修のほか、座学も関係機関と連携して実施予定。

## 3 今後のスケジュール

平成31年2月1日(金) 農業研修生任命式(旧以西小学校1階)

※農業研修生については、引き続き、就農相談会等への参加により、募集を行う。